

第2学年 算数科学習指導案

1、単元・教材名 ふえたり へったり

2、単元目標

加減の組み合わせされた、3要素2段階の問題を加減のオペレーター（変量）に着目した考え方で解くことができる。

【関心・意欲・態度】

増減する数量に着目して、「まとめて考える」という考え方のよさに気づき、これを活用しようとする。

【数学的な考え方】

増減する数量に着目し、まとめて考えることができる。

【表現・処理】

増減する数量を、数図ブロックを操作して表したり、図をかいて表したりすることができる。

【知識・理解】

増減する数量に着目し、「まとめて考える」という考え方を理解する。

3、指導計画（3時間）

- ・増増の場面で、順に考えたりまとめたりして解く問題
- ・増増の場面で、まとめて考えて解く問題（本時）
- ・増減の場面で、まとめて考えて解く問題

4、ICT活用のポイント

授業場所	普通教室			
授業形態	一斉学習	グループ学習	個別学習	補習
ICTを活用する場面	導入	展開	まとめ	その他
ICTを主に活用する者	教員	学習者	その他	
ICTを活用する目的	課題の提示 動機付け		教員の説明資料	
	繰り返しによる定着		モデルの提示	体験の想起
	比較 振り返り その他（ ）			
活用するICT	プロジェクター コンピュータ			

5、セールスポイント

- ・ブロック図を動かすことによりイメージ化がはかれ数量関係がとらえやすい。
- ・増増の場面でまとめて考える考え方が理解しやすい。

6、教材

自作・既存

7、本時の目標

- ・増増の場面の問題を、オペレーターに着目し、まとめて考える考え方で解くことができる

8、本時の展開

学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点
<p>1. さし絵を見て、どんな場面であるか話し合う。</p> <p>2. 問題文を読み、題意をとらえる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>ぞうのおりのまわりに13にんいました。そこへ4人きました。また6人きました。なん人になりましたか。</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・はじめ13人 ・4人増える ・6人増える ・みんなでなん人 <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><ICT> 題意にあった数図ブロックの絵</p> </div> <p>3. 立式し、考え方を発表する。</p> <p>① $4 + 6 = 10$ $13 + 10 = 23$</p> <p>② $13 + 4 = 17$ $17 + 6 = 23$</p> <p>③ $13 + 4 + 6 = 23$</p> <p>4. 考え方をまとめる。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><ICT> まとめて考える考え方を示した数図ブロックの絵</p> </div> <p>5. 練習問題をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p><ICT> 題意にあった数図ブロックの絵</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・おりのまわりに向かう人があることに気づかせる。 ・問題文からわかっていること、たずねていることは何かしかりとらえさせる。 ・プリントにやってきた人の数を○でかかせ数量をとらえさせる。 ・4人きて、また6人きたことのイメージ化をはかる。 ・きた人をまとめて考えるように助言する。 ・考えの進まない児童には数図ブロックを操作させたり、図を提示したりして考えさせる。 ・②③の考え方も認めるが、やってきた人をまとめて考えることから①の式がよいことをおさえる。 ・「まとめて考える」という考え方の理解を深めさせる。 ・プリントに図をかかせて考えさせる。

